

なぜなケアプランセンター



「笑う門には福きたる」という諺がある。実は笑いはリラックス法として非常に有効である事は科学的に証明されている。笑うと「NK (ナチュラルキラー) 細胞」が活性化する。この細胞は白血球の一種で癌細胞や細菌に感染した細胞を死滅させる力がある。つまり、笑うと免疫力が高まり、病気に対しても強い身体ができるのだ。病気や災害、戦争等と笑えない事もたくさんあるが、そうした中でも利用者や家族の安心に繋がる笑顔をもっとたくさん持って頂けるように励みたい。それが私の力や笑顔の源にもなっているのだ。

共生の里ヘルプステーション



生活援助中心のサービスで訪問している利用者は、できる限り自分でしようとします。例えば、洗い物が残っている時、「洗いましょうか？」と声掛けすると、必ず「後で、自分でするから大丈夫よ」と言います。そして、「できるうちは自分でしたい」と言うのです。ヘルパーは利用者ができないことの支援を行いますが、全てヘルパーがするのではなく、利用者を見守りながら、あるいは一緒に行いながらの自立支援も大切にしています。利用者の思いは一人ひとり違うので、その思いを尊重したサービスを心掛けていきます。

誕生日に寄せて

話をすることや身体を動かすことがとても好きだそうです。結婚で京都へ行き、20年間、耳鼻科で勤務していました。高槻に来て、つい最近までは健康体操教室に通っていて、やはり身体を動かすことが好きなのか長く続け、今後も違う形で、どんどん身体を動かしていきたいと言います。周りの利用者との話も楽しんでいきます。笑顔も素敵で、利用者やスタッフまでもが笑顔に元気をもらっています。

